

## 平成 28 年 10 月 24 日アンケート 感想

### ☆演題発表

#### 「食欲減退者に対するうま味調味料添加の効果」

- ・うま味の方は今後の展開に興味があき、口腔体操は実際当施設でも活かしたいと思った
- ・うま味調味料はやってみたいと思った（3人）
- ・うま味調味料を主食に入れ、摂取量の増加が見られることが分かり参考になりました。
- ・栄養補助食品を使用せずうま味調味料で食事量が増えればコスト面も非常に良いと思う。
- ・もう少し詳しくうまみ調味料の添加方法など説明があると良かった。
- ・うま味調味料については賛否あると思うので難しい課題であると思う。
- ・うま味調味料は興味深い発表だったが、結果として高齢者が美味しいと感じたのはS Tさんを気遣っての意見であり、喫食量のアップは声かけによるものではと感じた。
- ・栄養士が関わっていないようで納得いかなかった。なぜS Tが？

#### 「美味しくご飯を食べて笑って話してもらうために」

- ・S Tが食事に深く関わっているのはうらやましく聞いてました（当施設はS T不在）
- ・私の施設にも現在S T不在で口腔体操を行っているがなかなか上手にいかない現状がありますので、今日の発表はとても参考になった。
- ・口腔体操は毎食前のルーティーンにすることで向上が認められると思います。
- ・嚥下体操を食事に行っていますが、流れの一つとなり、内容の見直しも考えてみたいと思いました。
- ・口腔体操は具体的に説明してほしいと思う
- ・口腔体操を行っていない施設はないと思うので内容が知りたかった

### その他

- ・大阪大会、神奈川大会のRDの発表が聞きたかった（2人）
- ・他職種の取り組みは考えつかないような取り組みでおもしろかった
- ・他職種の食事関連の発表を聞く機会はあまりないので貴重でした。
- ・栄養士ではない職種の視点はすごくいい。実践する時にコラボすればいいのでは？
- ・簡易的な方法でとても分かりやすかった
- ・興味ある話でよかったです。栄養士さんの話があればもっと良かったです。
- ・考察、演題から想定出来る。もう一步踏み込んだ内容が欲しい

## ☆H28 業務アンケート報告

- ・スライドごとにN数があるといいです
- ・発表聞きやすく、分かりやすかったです。コピーがあると上司にすぐ報告出来るので次年度より検討お願い致します（2人）
- ・比較があり分かりやすく業務の次へのステップアップへも繋げられると思いますのでコピーが欲しかったです。
- ・資料のコピーが欲しかったです
- ・なかなか一人職種では変わらないと思った
- ・もう少しゆっくり説明して欲しかった
- ・アンケート手書きではなくデーター入力出来たらと思いました。

## ☆メーカーによる商品紹介

- ・新しい情報が得られて業務に役立つ内容で良かったです
- ・各業者の取り組みで補食、嚥下食について利用者様にありがたい食品が開発されて施設職員としては助かるものです。しかし給食に取り入れるには価格面がネックになります。
- ・MCTが認知症予防になると初めて知ることが出来ました（2人）
- ・ケアローソンの取り組み興味深いです（7人）
- ・ケアローソンの展開は知っていたが、ここまで本格的にケアサロンや相談所を設けているとは知らなかったのでも興味深かった。
- ・企業の皆さんの日々の努力に頭が下がります。ありがとうございます。
- ・社会情勢というか私たちの仕事が社会と関連なくして行えないのがとても良かった。
- ・試供品をいただいたので施設で利用してみようと思う（2人）
- ・単価も一緒に説明があると良い
- ・食事量が減ってきている方、栄養状態の改善が必要な方への導きの参考になった。
- ・メーカー商品は知っているものばかりで目新しいものはなかったが、ローソンは新しい情報だった。

## ☆講演 「スキルを上げよう！～安全でおいしく食べていただくための食支援～」

- ・口唇圧が弱い人ほど、口腔内残渣も多く介助してみないと分からないと聞いたのでその視点で介助しようと思いました。ムセを強みとして見て利用者に接していきたいと思います。
- ・口唇圧まで見れてなかったことを今回の実演で本当に良く分かりました。
- ・利用者の摂食、嚥下動作を細かく見ていなかったことに気づきました。
- ・具体的なお話が多く、分かりやすくとてもためになりました
- ・いつもは介助する側ですが、介助される側を体験して利用者の気持ちになれました。
- ・ペアになって介助してもらうことで、ここに気を付けなければいけないと自覚がもてました。また利用者1人1人にそれぞれ異なる問題を抱えているため、あらゆる観点から見てその方に合った対応をしていかなければならないと感じました。
- ・いつも食事介助の時に気付けなかった事、自分で食べてみてどのように食べているか改めて意識して実感したので、とてもためになりました。
- ・介助はただ口に入れるだけでなく、よく観察しないといけないと感じた。
- ・食事介助方法、順番とても勉強になりました
- ・食事介助を体験することでよく見なければいけないポイントが理解出来ました。
- ・食事介助の仕方、正しい姿勢と顔を上げて食べることの大切さ勉強になりました。
- ・介助の方法や咀嚼、嚥下の見方等教えてもらって今後の仕事につなげようと思った。
- ・食介の大切なポイント、再確認出来て勉強になりました。咀嚼の大切さを感じた。
- ・食事介助のポイント等を確認出来て明日からすぐに実践出来る内容でとても勉強になりました
- ・食事介助に関する不明点等知ることが出来、今後活かしていきたいです。
- ・食事場面でモヤモヤしていた観察ポイントが今後のラウンド時他の職種と共有していきたい
- ・介助に仕方、姿勢を見るなど分かっただけではいたけれどもっと深く見ていけば食形態の変更（下げる）を防ぐことも出来るとのことのお話で、今回学んだことを施設でも伝えて実践出来たらいいなと思いました。
- ・介助時の注意点がよく分かった。色々なアプローチ法が知れてとても良かった。
- ・嚥下について何度も勉強会に出ても新しいことを知ることばかりです。今日の勉強会を明日に生かして、また頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・咀嚼、嚥下について再度考えさせられる点が多くあり、STと話し合う上で大切なポイントを学ぶことが出来ました。
- ・日頃STの評価に栄養士も同行しているがその時の観る視点がより深まった。
- ・実践での食事介助は分かりやすかった。
- ・すぐに実践出来る様な濃い内容でした。大変勉強になりました（2人）

- ・栄養士ならではの視点も交えての内容でとても分かりやすかった。
- ・管理栄養士になって半年だが、現場で疑問に思っていたことが解決できた。貴重な講義ありがとうございました。
- ・ミールラウンド時に食介助に関わっていませんでしたが、もっと参加していかなければ本当の意味で利用者様の食事について理解出来ないと気付かされました。
- ・普段のミールラウンドの中で見なくてはいけない視点がたくさんあることが分かり、とても勉強になりました。自分達で実際介助などを行いとても分かりやすい講演でした。
- ・ムセた時の対応は初めて聞きました
- ・最後のムセた時の対応については初めて聞く内容だったので大変勉強になりました。
- ・二人で組む実習は勉強になります。先生の経験に基づいた講話とても分かりやすかったです。
- ・江頭先生の授業は何度か受けたことがあります、やはり体験型は身になるのでとにかくありがたいです。技術は自分の身に覚えるまですりこまないといけないと反省しました。
- ・もう少しゆっくり話して欲しい。前回と内容が似ていた。ムセについて理解出来ました。CWに教えてあげようと思います。
- ・実践出来る内容でとても勉強になりました。
- ・なるほど、と思う事がたくさんあり実習は良かった。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・普段よりやっていることですが、さらに実践に繋がられるような講演でした。
- ・胸鎖乳突筋の話は初めて聞いて勉強になりました。ムセの話も良かったです。

## ☆研修会全体の感想・意見

- ・よい研修会でした。準備ありがとうございます。役員さん大変だと思いますが会員の皆様のためにも今後どうぞよろしくお願ひ致します
- ・とても参考になるものばかりでよかったです
- ・全体的によかったと思います
- ・時間が長いかと思つたが実際に参加してとても充実した内容でちょうど良かった。
- ・1日研修会を開催してくださりありがとうございます。有意義な時間を過ごすことで出来ました。また参加したいです。
- ・短い時間でしたが、現場で実際にあるもの、問題について取り扱ってもらひありがとうございます。
- ・普段一人で業務を行っているだけだと勉強出来ないことを知れて大変ありがとうございます。
- ・研修運営ありがとうございます。とても有意義でした。
- ・参加出来て良かったです。今日の企画ためになりました。
- ・スキルアップになる、このような実践的な研修をお願ひ致します。
- ・実技が入ると、とても分かりやすい研修でした（4人）
- ・日々の業務に役立つ内容の研修をして頂けたらと思います。
- ・もう少し研修会の回数を増やしていただけたらと思います（2人）
- ・福祉用具のサンプル等があればよい
- ・私の施設はFAXがうまく届きません。HPで情報をもらうようにしていますが、いつ、どんな研修があるか（次回の予定）など研修会時にアナウンスがあると助かります。
- ・研修会に出て一方向で話を聞くだけでなく、他施設情報も得られるため、グループワークは取り入れて欲しいです。
- ・名刺交換会やグループワークや事例検討等出来たら良かったと思います。
- ・時間が足りずにもっと時間を取ってほしい
- ・時間が11時半～よりもう少し早い時間から開始出来ないでしょうか？
- ・前半の内容が少し寂しかった
- ・社協と違いきれいで会場が良かった
- ・本日に關して会場までの案内がもう少し分かりやすいと良かったです
- ・昼食おいしくいただきました。
- ・お弁当もっとおいしくしてほしい

## ☆部会の活動内容

### ①今後取り上げてほしい研修内容

- ・年度末、県大杉山みち子先生の高齢者の栄養管理
- ・牛込先生、脱水 or 隠れ脱水で来年度春ごろお願いして頂きたくご検討宜しくお願ひします
- ・今在宅訪問栄養士に老健から（在宅復帰）利用者さんをリレーする取り組みを進めています。その栄養士も歯科医師もとても喜び、仕事のやりがいを感じて下さっています。初めてのことです。老健の栄養士として在宅へ出ていくことは自ら出来なくても、そんな動き方が大切なのではと思っています。自分たちが何を働きかけるかではなく「リレーする」ということをテーマに研修してほしい
- ・栄養ケアマネジメントの基本（2人）
- ・経口維持加算算定の取り組みまでの一連の流れ（3人）
- ・口腔維持のための具体的な例
- ・会議の進め方、栄養委員会の議題
- ・次回の改定に向けて情報があれば知りたい
- ・実地指導について
- ・通所での栄養改善の取り組み（2人）
- ・多職種連携
- ・在宅復帰向上への取り組み
- ・看取りに対しての栄養支援（2人）
- ・褥瘡と栄養最新情報
- ・経管栄養の方の栄養、栄養状態は良いがアルブミン等微量元素は低いなどの対応方法
- ・認知症の人への対応方法（指示が入らない人への嚥下体操等、介助のポイント）
- ・認知症の利用者に対しての食事介助、形態の選び方
- ・施設全体で食事を通して便秘対策をしている施設があれば知りたい。
- ・生化学の知識でおいしい減塩食
- ・ソフト食やゼリー食などへの施設における取り組み方
- ・献立の展開方法（常食→咀嚼調整食→嚥下調整食への展開方法）  
調理作業量の軽減、効率化
- ・浮腫について
- ・実技メインのもの

## ②他職種の取り組みに興味ありますか（具体的に聞いてみたいこと）

- ・在宅で栄養面で困っている方はいるか。施設栄養士からデイの利用者の事で連絡が来ることに対してどう思うか（在宅CM）
- ・在宅での食生活の実態（在宅CM）
- ・うちはCWがリハを行っているのでフロアで行っているリハ内容と食事量に対してのリハ量になっているか聞いてみたい（リハ、CW）
- ・経口維持の取り組みの例について、STかNSに聴診器の使用方法教えてもらいたい（看護、リハ、CM、歯科衛生士）
- ・食事に関わるリハ、PTによるスプーン運びなど、介護、リハの体位変更の仕方（CW、リハ）
- ・食事動作などに関するリハについて（リハ）（2人）
- ・摂食と栄養とリハビリの関連（リハ）（3人）
- ・食事時のポジショニング、誤嚥性予防の呼吸リハ（リハ）
- ・フレイル、サイコペニア（リハ）
- ・口吸リハについて（リハ）
- ・各セラピストの役割（リハ）
- ・病院のNSTチームのように栄養サポートをするために必要なコミュニケーション（看護、リハ）
- ・身体機能の向上と栄養管理について（看護、リハ）
- ・嚥下障害の方に対しての各部署でどのような視点で介入しているか（看護、リハ）
- ・他職種ミールラウンドでの視点や感情の違い、栄養士への要求（リハ、CM）
- ・栄養についてどこまで考慮しているか→褥瘡、寝たきりの食事介助等（看護、CW）
- ・ターミナル、看取りへの対応、取り組みについて
- ・排泄（看護）
- ・在宅復帰への連携（SW）
- ・介護保険について（CM）
- ・ケアプランとの関連についてのコミュニケーションの取り方（CM）（2人）
- ・介護職からの食事の要望（CW）
- ・ミールラウンド、カンファの協働、時間の取り方（全職種）
- ・栄養士をどう思っているか（全職種）
- ・他職種の取り組みももちろん知りたいですが、管理栄養士として何か特別な取り組みをしている人がいれば紹介して欲しいです。

### ③気になっている食品や食材

- ・スーパーフード、乳酸菌、酵素
- ・グラノーラの種類と効果、長所、短所
- ・ターメリック
- ・ルイボスティー
- ・新種の野菜など
- ・ユニバーサル
- ・配食弁当の試食（在宅復帰者へ進めているが試食したことがないので上手に伝えられない）